

2012年2月25・26日 東大・京大・大阪市大医学部受験生応援記(網干雅仁)

[2月24日以前]

毎年、2月25日の朝に阪大吹田キャンパス、昼から京大に応援に行っていたのですが、医学部受験者の増加により、今年は受験者の多い大阪市大医学部、京都府立医科大医学部も応援の行き先の候補になりました。そして、今年は東大にも行きたいということで、直前までどの組み合わせで行くか悩みました。そして、結局、2月25日の朝に大阪市大医学部、昼から京大、2月26日の朝に東大本郷キャンパス農学部（理科Ⅲ類の試験会場）前に行くことに決めました。

[2月25日7:10]

朝 7:00 に研伸館上本町校で笹谷先生と待ち合わせをして一緒に行くことにしたのですが、僕の悪い癖で朝早く起きることができず、10分遅れてしまいました。笹谷先生ごめんなさい。前日の晩に中村祐介先生からメールで連絡があり、祐介先生とは現地で集合することにしました。

[2月25日7:30]

大阪市大医学部に到着しましたが、初めて応援に行くところなので、どこに立てば受験生に会えるかを探るべくしばらく周辺をウロウロしました。心配していた雨がパラパラ降っています。大阪市大医学部には大阪市大医学部病院に近い西側の入り口と天王寺駅に近い東側の入り口があるのですが、西側の入り口の近くに雨宿りできるスペースがある適当な場所があり、まずそこに立ちました。念のため東側入り口に行ってみると門が閉まっています。しかも、西側入り口近くには写真のような案内がありました。他の予備校の応援の人もいましたし、東側の門が閉まっていたので、これで確実に受験生に会える、そう確信していました。雨宿りができるスペースがある、案内がある、これがトラップでした。しかし、我々はまだそれに気付いていません。写真のように研伸館の旗を掲げて立っていました。そんなこんなでしばらく待っていたのですが、受験生の姿はまばらです。気が付くと他の予備校の人達が消えていました。そして、雨宿りできる場所に荷物を置いていた祐介先生が、その建物の警備員の

人に「ここに荷物置いちゃだめだよ」と何故か大阪のど真ん中の天王寺で「だめだよ」という言い方で注意されました（笑）。そこで我々は気付きました。東側の入り口に近い信号の所に他の予備校の人や受験生の姿があることに。慌てて場所を移動します。後で確認すると、東側の門が受験生だけが入ることができるように少しだけ開いていたのです。そこで2～3人の受験生と会うことができましたのですが、時既に遅し。雨は降るわ、祐介先生が警備員の人に注意されるわ、会えると思っていた僕の教え子には1人しか会えないわで、朝の大阪市大医学部は惨敗に終わりました（泣）。もし次に大阪市大医学部に応援に行くことがあるなら、今度はこんな失敗はしません。



[2月25日 9:00]

大阪市大医学部を去り、笹谷先生と京大に向かいます。高速を乗り継ぐと、10:00 過ぎには京大に着きました。

[2月25日 10:30]

京大理系の国語が終わる 11:00 までまだ少し時間があるので、車を止めた場所から京大北部構内に向かう途中の今出川通り沿いにある有名な「進々堂」で朝ごはんを食べます。おなかが空いていた笹谷先生はカツカレーを食べていました（笑）。本当は「進々堂」の写真も掲載したかったのですが、以前高2向けの京大紹介ビデオを作製したときに撮影を断られたので、写真は撮りませんでした。

[2月25日 11:00]

京大北部構内の農学部掲示板前に行きます。笹谷先生と僕の思い出の(?)理学部数学教室の前に農学部があります。ここでは西宮校と川西校の「京大阪大物理」を受講していた教え子と会えました。そして、ここで山下先生と松崎先生とも合流しました。農学部の入り口と掲示板は写真のような感じです。来年も理系の国語が終わった後にここに行くことになると思います。京大農学部志望者の皆さんはよく見ておいてください。最後におまけです。北部構内の入り口にあったサークル勧誘の立て看板です。山仕事サークル「杉良太郎」って。でも、僕が学生だったら行って見たかもしれません(笑)。



[2月25日 11:30]

京大中央構内に入ると、早速西宮校の「京大阪大物理」を受講していた教え子に会いました。そして、工学部8号館掲示板前に行きます。工学部8号館は工事中でした。いつもなら階段の上から見下ろして生徒を探すのですが、工事で階段に上れません。雨が降っていることもあり、例年と比べて外を出歩く生徒の数は少ないです。必然的に教え子に会う数も例年よりも少な目です。工学部の受験者が一番多いので、ここでたくさんの教え子に会っておきたいところです。最初に西宮校の「京大阪大物理」を受講していた教え子に会い、しばらくすると京都校の「東大京大物理」、「京大阪大物理」を受講していた生徒に会いました。

[2月25日 12:15]

次は理学部の試験会場である京大吉田構内に向かいます。中央構内と吉田構内を隔てる東一条通りのところで京都校進学アドバイザーの湯川さんそして京都校「東大京大物理」を受講していた京大医学部を受験する教え子に会いました。ここからしばらくは湯川さんと一緒に行動します。理学部の試験会場は吉田構内の一番奥にあります。今の呼び方はよく分かりませんが、昔はE号館と呼ばれていた建物です。昔はA号館に○核派、E号館に革○派(伏字になってない(笑))のみなさまがいらっしゃいました。E号館に行く途中のD号館や図書館の辺りが勢力境界線で、冗談は抜きにして、1980年代に図書館前で両派の衝突があり、死者まで出たそうです。そんなこともあり、我々の時代はE号館3階のトイレの窓から革○派か○核派が来ないか双眼鏡で監視していたんです。本当に。今では考えられないでしょ。1回生の時に数学の授業がA号館であったのですが、○核派の授業妨害がひどく、担当の先生は○核派と革○派の勢力境界線上のD号館に教室を移した程です。脱線し過ぎました。元に戻ります。理学部の試験会場になっている旧E号館に向かいますが、残念ながら理学部を受験する教え子には会えませんでした。この後、湯川さんは経済学部や法学部の試験会場に、僕は医学部構内に向かいます。

[2月25日 12:30]

医学部構内に着きます。やはり雨のせいか外に出ている生徒の姿はまばらです。去年は僕の教え子が外でお弁当を食べていたんですが。ウロウロしてそろそろ薬学部に移動しようかと思った頃に京都校の「東大京大物理」を受講していた教え子に会うことができました。13:30から数学の試験があるので、この後、急いで薬学部構内に向かいます。そして、京都校「京大阪大物理」を受講していた教え子に会います。写真は吉田構内から医学部構内に向かう途中にある吉田寮のすぐそばの建物の写真です。



[2月25日 13:15]

例年通り西部食堂「ルネ」でお昼ご飯を食べます。僕が行くと、既にみんなそろっていました。写真がその様子です。雨が降っていたので、湿気でやや画面が曇り気味ですね。一人写真に気付いた北林先生がピース。もう1枚の写真は嬉しそうにパフェを食べる松下先生です（笑）。



[2月25日 14:00]

東京に行くために1人で「ルネ」を出ます。東京に行く前に行きつけの和菓子屋「柏屋宏之」さんに寄ります。自分の家で食べるためのものと東京の妹夫婦の家にお土産で持って行くためのものを買います。昨年11月、妹が男の子

を出産し、僕にとっての初めて甥が誕生しました。この甥っ子に会うために東大の応援の後に妹夫婦宅に寄ろうと言う訳です。写真は「柏屋宏之」さんで買った和菓子の写真です。季節柄、右上には男雛と女雛の干菓子が入っていました。



[2月25日 15:30]

車を置きに一旦家に帰ります。そして、すぐに家を出ます。

[2月25日 17:00]

新大阪から「のぞみ」に乗って東京に向かいます。土曜日だったので混んでいるかと思っていたのですが、夕方だったからか空いていました。東京まで隣が空き席でゆったりとできました。東京には19:30頃に着くので、車中でお弁当を食べて晩ご飯にしました。

[2月25日 21:00]

東大本郷キャンパスに近い湯島で宿泊します。お風呂に入って早めに寝ました。長い1日が終わりました。

[2月26日 8:10]

ちょっと距離がありましたが、湯島から理科Ⅲ類の試験会場である東大本郷キャンパスの農学部前まで歩いていきました。途中で理科Ⅰ類や理科Ⅱ類の試験会場の入り口である東大本郷キャンパス正門前を通過します。受験生が並ん

でいたので、道路を渡って向こう側から理科Ⅲ類の試験会場に向かいます。8:00 に開門だったようで、既に受験生が試験会場に入っています。東大の応援は今回が初めてだったのですが、京大と違って、チェックが厳しいですね。キャンパス内に入る時に一人一人に受験票の提示を求めていました。キャンパス内をウロウロできる京大とは大違いですね（笑）。しばらくして気が付いたのですが、女の子の受験生が思っていた以上に多いのです。中には同じ制服の女の子3人（桜蔭？）と一緒に試験会場に入っていました。そして、もう一つ、高年齢の再受験組が多いことにも気付きました。明らかに僕よりも年上の受験生を少なくとも5人は見ました。そんなこんなしているうちに時間が過ぎますが、僕の教え子は現れません。もしかすると開門してすぐに試験会場に入ったのかも少し不安になります。他の応援に人の一部が帰り始め、もうダメかと思ったその時、京都校「東大京大物理」を受講していた教え子2人（男女1人ずつ）が続けて現れました。よかった！もし会えなかったら何のためにここまで来たのかとなっていたところでした（甥っ子に会うというもう1つの目的があるとはいえ）。わざわざ東京まで来た甲斐がありました（そして、2人とも合格です）！



東大本郷キャンパス農学部前

[2月26日 8:45]

せっかくなので、正門と赤門の写真を撮ろうと来た道に戻ります。まずは正門の写真です。続いて赤門の写真です。赤門の前にはこんな人達もいました。このあたり東大も京大もあまり変わりませんね。



東大本郷キャンパス正門



東大本郷キャンパス赤門

写真を撮るために歩いていて思ったことですが、やはり東大周辺も京大周辺と同様に歴史の重みを感じます。歴史のある街の中に大学があつてこそ、そこから文化が生み出される、そんな気がしました。僕は郊外に大学のキャンパスを作ることに反対なのですが、その思いを一層強めました。郊外で勉強に集中すれば、技術は生み出されるかも知れませんが、文化は生み出されません。東

大と京大が日本の最高学府なのはこんなところにも理由があるのかもしれないね。歩いていると、森鷗外生誕 150 年とのこと。本当は「鷗」外ではなく写真の通りの漢字なんです、正しい字はパソコンではでないそうです。山本みつを先生に教えてもらいました。そして、東大本郷キャンパス正門前にはこんな古き良き時代の喫茶店がありました。ここでコーヒーを飲んでから妹夫婦の家に向かいました。



[2月26日 9:30]

東京メトロ(やら都営地下鉄やら関西人には東京の地下鉄はよく分かりません(笑))南北線東大前駅から北に向かうと妹夫婦の家の最寄り駅に着きます。妹の旦那さんが車で迎えに来てくれるのではないかと思っていたのですが、妹が歩いて迎えに来ました。

[2月26日 10:00]

妹夫婦の家に着きます。甥っ子と再会します。よく笑うようになりました。可愛いですね。生まれて間もない甥っ子に「東大が近いし将来は東大生やな」と言うと、妹夫婦そろって「無理、無理」と。今からその気なら大いに可能性

ありと思うんですけどね。11:30 過ぎに妹夫婦の家を出ます。

[2月26日 12:30]

東京駅に着きます。東京駅構内にある美味しいチャーハンのお店とお弁当屋がある場所の地図を妹に書いてもらったのですが、全くその地図が当てになりません（笑）。方向音痴の妹が書いた地図ですが、方向感覚抜群の兄は見事チャーハンのお店とお弁当屋を探し当てます。チャーハンのお店は行列ができていました。東京ではお店でよく行列ができると言いますが、本当にそうでした。時間がないので、お弁当屋さんで高くても美味しそうなお弁当を買いました。

[2月26日 13:00]

新幹線で東京駅を出て、14:30 頃に新大阪駅に到着します。これで長い2日間が終わりました。充実した2日間でした。来年も東大に行こうかな（笑）。